

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちやおチャイルドアカデミー		
○保護者評価実施期間	R06年12月1日		～ R07年02月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	R06年12月1日		～ R07年02月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R07年03月15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度の項目(27.28.29)では、アンケートを書いていた保護者全員が「はい」と答えていることから、当事業所の環境、体制整備の充実(1～4の項目)の努力が評価されていることが推測される。	児童それぞれに合わせた支援の取り組みを重視している。	項目11の内容では、アンケート上最も「いいえ」が多かった。今後は、他の子供たちと接する機会を増やす取り組みを重視していく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応の「訓練」「説明の不足」(項目23～26)が挙げられる。	非常時等の対応の項目で「わからない」と答えた方が最多9人いた。保護者にもよく伝わる「行事や説明」がもう少し必要に思える。	訓練の実施を増やすとともに、保護者への説明の機会の確保に努めること。
2	保護者への説明の不足(項目14～18)が挙げられる。		
3	辞表所における自己評価では、業務改善(6～10)の項目で「いいえ」が多くあった。	業務改善に向けて、外部からの評価の事業所内での共有の強化。	